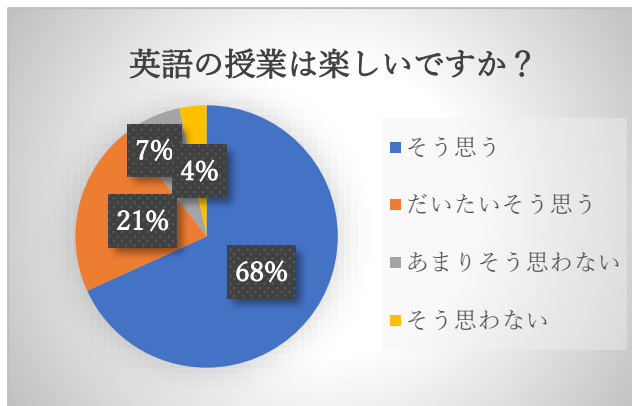


下諏訪北小学校 英語活動、英語教育について

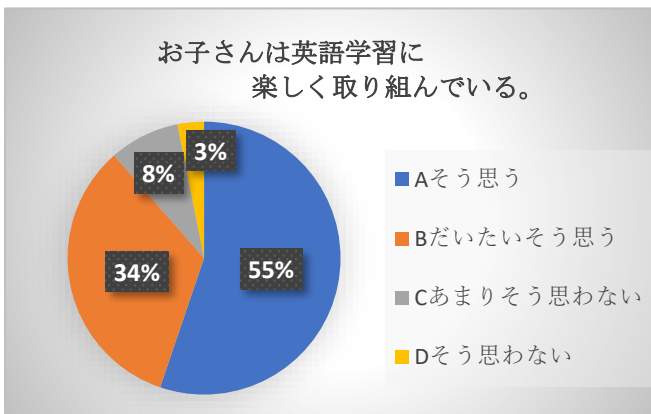
1 「児童の自己評価」 について



令和4年度に高学年に実施したアンケートでは、「英語の授業が楽しい」と感じている児童が、「そう思う」「だいたいそう思う」を合わせて89%となっていて、ほぼ9割近い児童が英語が楽しいと感じています。アンケートの記述回答を見ると、「楽しい」の中身は2通りに分かれています。英語そのものの楽しさを感じる場面としては、「英語でいろいろな人と触れ合えるから」「自分の知らなかった単語を覚えられて、たくさんの言葉を学べるから」などがあげられています。また、授業

の楽しさを感じる場面としては、様々な英語を使ったゲームや歌、クイズなど、興味・関心をひく工夫された授業内容への魅力があげられています。英語専科教師及びELTの丁寧な授業準備と丁寧な担任との打ち合わせの効果だと考えます。一方で約11%の児童は「楽しい」と思えていません。その理由としては、「難しくて分からない」「発表したり発音したりするのが恥ずかしい」「読んだり書いたりすることがうまくできない」などの意識が伺えます。個々に得意不得意はありますが、友だちと一緒に学ぶことで、「分かる」「できる」楽しさを味わえることも目指していきます。

2 「保護者評価」 について



令和4年度に保護者に実施したアンケートでは、学校で「お子さんが英語学習に楽しく取り組んでいる」と感じている保護者が「そう思う」「だいたいそう思う」を合わせて89%となっていて、児童と同じくほぼ9割以上の保護者が自分のお子さんが楽しく英語を学習していると感じています。英語の歌を口ずさんでいたり、テレビ等から聞こえる英語に関心を持つ姿からそのようなとらえている様子が伺えます。一方で、楽しく学習しているとは感じていない保護者が11%となっています。

保護者の方にも実際の英語学習の様子を知っていただきたいと考えていますが、コロナ感染拡大予防のため、令和4年度も令和3年度に引き続き英語参観週間が実施できませんでした。学級通信や学校だよりなどでも、児童の学習の様子を保護者の方にお伝えできるよう努めていきます。

3 「関係者評価」 について

令和4年度は新型コロナへの規制が少しずつ緩和されてはきていたものの、地域の方や「すわらじの会」等、関係者の皆様に来校いただいたり、参観日等で地域の皆様に授業を公開したりする機会はほとんどとることができませんでした。令和5年度も英語の授業公開や英語参観日などを予定しましたので、保護者や関係者の皆様に本校の英語学習の様子を見ていただき、感想やご意見をいただきたいと考えています。

今後も「児童」「保護者」「関係者」評価を日々の授業の指導に生かすように取り組んでいきたいと思っております。